



平成 28 年 9 月 5 日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
会 社 名 RIZAP グループ株式会社
代 表 者 代表取締役社長 瀬戸 健
コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス
問合せ先 取 締 役 香西 哲雄
電 話 番 号 03-5337-1337
U R L <http://www.kenkoucorp.co.jp/>

子会社 RIZAP 株式会社と東京大学黒田研究室による 科学的健康管理法を確立するための基礎研究開始のお知らせ

当社子会社であるRIZAP株式会社（以下、RIZAP）は、東京大学理学系研究科生物科学専攻黒田研究室と「低糖質食事法およびレジスタンス運動による血中代謝物・ホルモン濃度の変化」に関する共同研究を開始することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景

厚生労働省のデータによると、現在、日本の男性の 28.6%、女性の 20.3%が肥満とされています。この肥満に伴う糖尿病、動脈硬化などの生活習慣病に起因する年間医療費は 8.6 兆円となり肥満そのものが社会問題化されております。また、世界の肥満人口はこの 40 年間で急速に増えており、肥満人口は 6 億 4,100 万人に達しているといわれております。このような社会背景を受け、より確実に成果を出せる肥満解消法の開発が急務となっており、国や企業などで肥満解消に関する多くの研究や手法の開発が行なわれてきました。その多くの肥満解消法の中でも、短期間で効果が出せる RIZAP メソッドに着目した東京大学理学系研究科生物科学専攻の黒田真也教授と共同で、科学的根拠に裏付けされた、より精度の高い健康管理を実現するための基礎研究を実施することとなりました。

2. 内容

研究テーマ : 低糖質食事法およびレジスタンス運動による血中代謝物・ホルモン濃度の変化の検討

研究実施責任者 : 東京大学 理学系研究科生物科学専攻 教授 黒田真也

3. 目的

社会背景にもありますように、より確実に成果を出せる肥満解消法の開発が重要な課題となっております。本研究では、RIZAP プログラムの前後に採血を行い、血液中の 106 種類の微量元素や成分（糖質、脂質、アミノ酸など）の変化を、最新の物質分析装置をもちいて、網羅的に測定し、

解析します。さらに、肥満や動脈硬化にかかわると言われる免疫にかかわるサイトカインや、体内のバランスの調整を司るホルモンも同時に測定し、それらの変化と減量との相互作用、関連性を解析します。以上により本研究は、個人個人の減量のスピードや、リバウンドの傾向の違いなどのパターンを見出すための基礎的知見を得ることを目的とします。

RIZAP プログラムによる血液成分の変化を、可能なかぎり網羅的に測定し、解析することで、今までよりもさらに確実性の高い各個人の体質に最適な食事・運動プログラムの提供が期待されます。個人ごとの問題点を科学的にとらえ、解決するオーダーメイドプログラムの作成のための基礎的知識の確立を目指します。

システム生物学の専門家である東京大学理学系研究科生物科学専攻の黒田教授のこれまでの研究や知見を活用する事によって RIZAP メソッドを科学的に進化、レベルアップさせ、これによって個々の健康管理の精度を今まで以上に高めることが可能となるため、今後のヘルスケア領域への進出および展開拡大が加速化されます。この結果として新たな顧客層の獲得や既存顧客の継続率向上および RIZAP ブランドの信用性が高まることによる売上拡大が見込まれます。

これまでの研究も含め、RIZAP メソッドが確実に結果を出せる事を証明すると共に、これからも RIZAP メソッドを進化させ続け、日本のみならず世界の肥満解消および健康増進のスタンダードになる事を目指して参ります。

以上